

【現代社会学部】令和7年度 学部教学マネジメント報告書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制の変更点 ※計画書から変更があった場合

変更なし。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの改善に向けた今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

① カリキュラムマップ

主要授業科目の追加と資質・能力の一部確認を行った。

② シラバス

シラバスの第三者チェックを実施し、シラバスに記載すべき事項を正確に学生へ提供するための体制が整っている。

③ その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

特になし。

課題

令和7年度は、令和9年度に予定している「心理学科」設置準備のため、既存学部学科においては具体的な取り組みを行っていない。令和8年度は、心理学科を含めた3学科の取り組みが求められる。

カリキュラムマップについては、令和8年度からのカリキュラム改編によって閉講となる科目や新設科目のチェックを行ったが、心理学科と合わせたカリキュラムマップの再検討が課題である。

シラバスの記載内容については、とりわけ「14回+オンデマンド授業」に変更になったが、その表記方法についてシラバスチェック時に議論があった。

カリキュラムツリーについては、心理学科と合わせ、各科目の関係や体系についての理解を深めることが課題である。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化の今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

カリキュラム改革を控え、カリキュラムマップの再確認を行った。また新旧カリキュラムを照合し、合併開講、複数開講の必要性の確認を行った。

課題

令和8年度開始の新カリキュラムについて、おおむね新旧カリキュラムへの移行に関する諸課題については確認できたが、今後、実際の運用を通じて見えてくる課題についてのチェックが求められる。また心理学科

開設に向けて、カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、ナンバリング等教育課程の可視化に向けた準備を進める必要もある。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況の評価と明らかになった課題

評価（授業科目の到達目標の達成状況 および 学生の資質・能力の修得状況）

教育支援研究開発センターの協力を得て、学習成果実感調査の分析と共有を実施した。学部全体として見たとき、おおむね、「授業外学習時間」の長さ、「授業の目標達成度」「学ぶ意欲」「授業の満足度」の「強くそう思う」、また「授業の目標到達度」と「学ぶ意欲」「授業の満足度」との間には正の相関があることが分かった。

課題

1回の授業当たりの準備学習等（事前・事後学習）については、「30分未満」「30分～1時間未満」を合わせると7割に達する。「授業の目標到達度」や「学ぶ意欲」、「授業の満足度」は事前・事後学習によって大きく高まることから、自主学習の動機づけを行う必要がある。

アセスメントプランの取り組み

① 結果

教育支援研究開発センターに協力をお願いし、アセスメント科目の分析を実施した。「社会学入門A」、「入門演習A」と「現社専門」「健スポ専門」「データ分析」について、学習成果実感調査の全学部共通設問の集計と分散分析をおこなった。科目毎にそれぞれ異なる特徴が示されたが、目立ったのは「社会学入門A」「入門演習A」「データ分析」の結果である。いずれも、学科専門科目と比して、準備学習等の時間が長いことが特徴である。また「データ分析」は、準備学習等の時間が長いにもかかわらず、「授業の到達目標」「学ぶ意欲」「満足度」にやや低い傾向がみられる。

② 課題

準備学習等の時間が長いほど「授業の到達目標」「学ぶ意欲」「満足度」が高い傾向がみられるのは自明だが、全体としては事前・事後学習の時間を十分に取れているとはいえない。準備学習等を行う動機づけを与える必要がある。

「データ分析」において、準備学習等に時間を割いているにもかかわらず、「授業の到達目標」「学ぶ意欲」「満足度」にやや低い傾向がみられるのは、量的データの扱いに苦手意識を持つ学生が多いことが考えられる。新カリキュラムでは両学科ともデータに関するプログラムを設置したが、こうした課題を踏まえ、量的データの扱いに慣れてもらい、苦手意識を取り除く取り組みが求められる。

5. 学部における教学マネジメントの組織体制を踏まえた教員組織の編制方針の見直しの状況

評価（該当する番号にチェック）

- ☒ ①学部における教学マネジメントの検証体制を踏まえて実施できた。
- ☐ ②学部における教学マネジメントの検証体制を一部踏まえて実施できた。
- ☐ ③学部における教学マネジメントの検証体制を踏まえた実施ができなかった。
- ②もしくは③を選択した場合はその理由を自由記述欄に記入

自由記述欄

※この内容は、本学における教学マネジメントの一環として、本学HPへ掲載します。